

製品名: APOC1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07028**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	APOC1
別名	Apolipoprotein C-I (Apo-C1B; ApoC-1B; Apolipoprotein C1) [Cleaved into: Truncated apolipoprotein C-I (Apo-C1B'; ApoC-1B')]
遺伝子 ID	341.0
SwissProt ID	P02654
免疫原	ヒト APOC1 由来の合成ペプチド AA 範囲: 1-50

背景

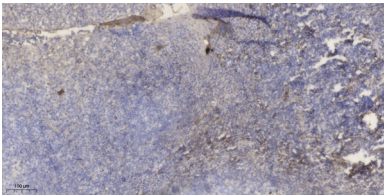
この遺伝子はアポリポタンパク質 C1 ファミリーのメンバーをコードします。この遺伝子は主に肝臓で発現し、単球がマクロファージ

に分化する際に活性化されます。コードされているタンパク質は、高密度リポタンパク質（HDL）および超低密度リポタンパク質（VLDL）の代謝において中心的な役割を果たします。また、このタンパク質は血漿中のコレステロールエステル転送タンパク質（CET）を阻害することも示されています。この遺伝子の疑似遺伝子は、同じ染色体上の同じ方向で 4 kb 下流に位置しています。この遺伝子は 19 番染色体にマッピングされ、アポリポタンパク質遺伝子クラスター内にあります。選択的スプライシングと代替プロモーターの使用により、複数の転写バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2016 年 9 月]機能: APOE と β 遊走性 VLDL の相互作用を調節し、 β VLDL と LDL 受容体関連タンパク質の結合を阻害すると考えられています。、その他: アポ C1 は、VLDL (超低密度リポタンパク質) のタンパク質の約 10%、HDL (高密度リポタンパク質) のタンパク質の約 2% を占めています。、オンライン情報: アポリポタンパク質 C1 エントリ,類似性: アポリポタンパク質 C1 ファミリーに属します。、組織特異性: 主に肝臓で合成され、腸管でも少量合成されます。血漿中に分泌されます。、

研究分野

心血管; 脂質/リポタンパク質; リポタンパク質/アポリポタンパク質; リポタンパク質; 脂肪酸; 結合タンパク質; シグナル伝達; 代謝; 脂質代謝; アテローム性動脈硬化症; リポタンパク質代謝; 代謝経路とプロセス; 代謝シグナル伝達経路; 脂質およびリポタンパク質代謝; 心臓病; 経路とプロセス; 酸化還元代謝; 脂肪酸酸化

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した（4°Cで一晩）。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した（室温、30 分）。